写真コンクール（第39回）

12月11日(水)、写真コンクール審査会がNHK文化センター講師大熊信雄氏を審査委員長に、技術委員会担当分科会のメンバーにより執り行われました。

応募作品48点、出品者数31名の中から厳正なる審査の結果、金賞1点、銀賞2点、銅賞3点、佳作5点、新人賞1点、ファミリー賞1点の計13点が選ばれました。

参加者の皆様、ご協力ありがとうございました。

次回の写真コンクールにもたくさんの楽しい作品、力作の出品をお待ちしております。

金賞

超絶技巧

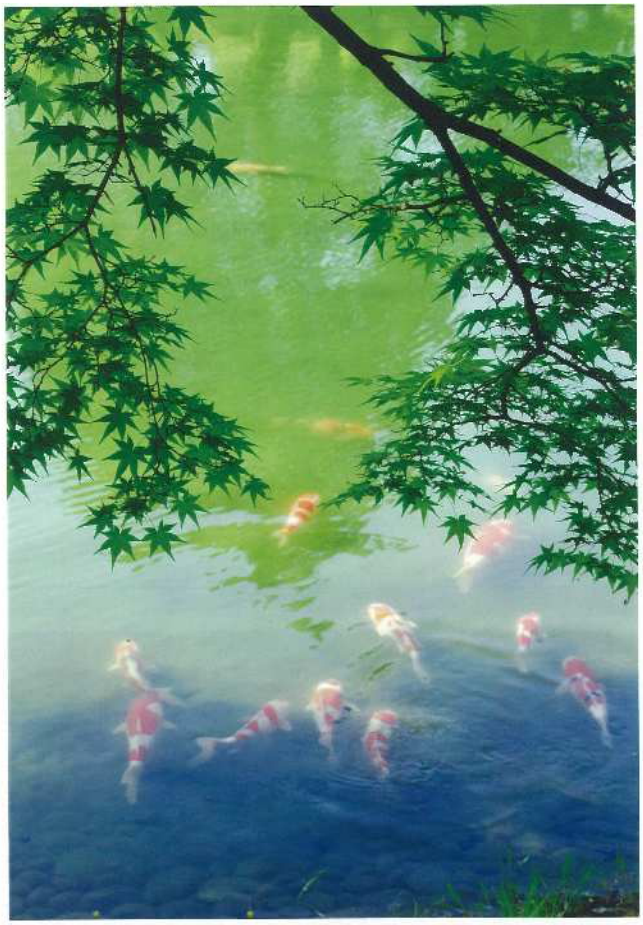
宮田　俊彦（三球電機㈱）

〈講評〉

簡単には撮れない写真です。配置・バランス・トリミングもいいです。
撮影するための熱意が伝わります。百戦錬磨のプロ級の腕です。

写真コンクール（第39回）

銀賞



前へ前へ
柴田　裕子（住友電設㈱）

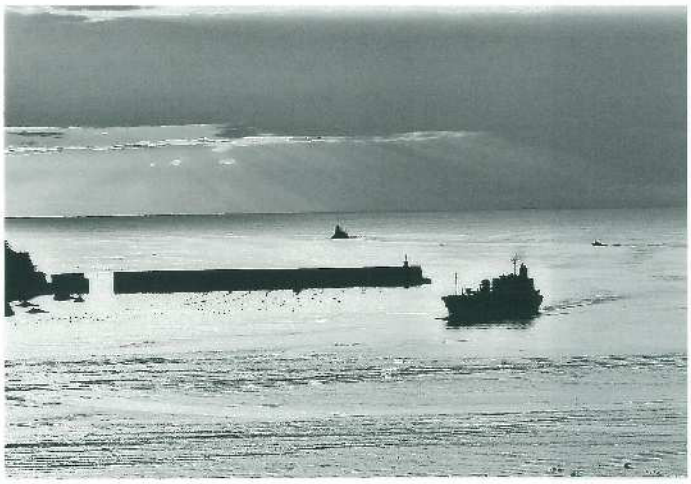
〈講評〉
鯉と、緑のもみじのバランスがとてもいいです。タイトルに工夫があればもっと良いが、写真としては問題ありません。季節感のあるタイトルの方が良かったかもしれません。

取れるぞ！
星野　敏也（野里電気工業㈱）

〈講評〉
子どもの表情、ピント、露出、構図、全ていいです。

写真コンクール（第39回）

銅賞



朝帰り
島田　隆（㈱島田電気商会）

〈講評〉
波、船、鳥の位置など全ていいです。白黒もいいです。

子猫
島田いずみ（住友電設㈱）

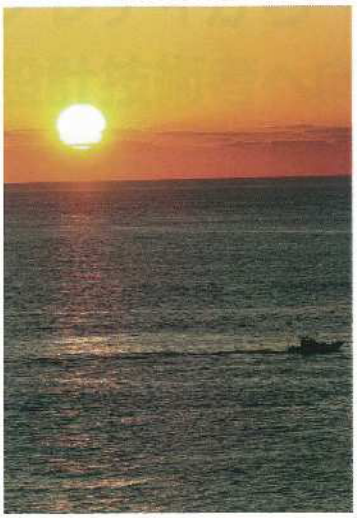
〈講評〉
表情がかわいくていいです。ひげにピントが合っていて、トリミングもいいです。

仲良くお食事
上村　眞人（日本リーテック㈱ＯＢ）

〈講評〉
露出・ピント・構図とてもいいです。プロの写真です。

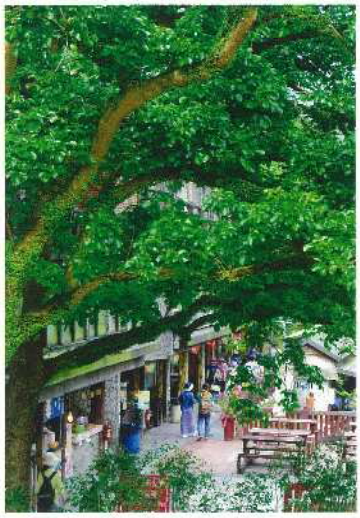
写真コンクール（第39回）

佳作



日御碕より望む夕日
山本　広次（㈱九電工ＯＢ）

〈講評〉
構図のバランスが非常によく、露出もいい。夕日の写真は雲次第なので、雲があればもっとよかった。



夏がはじまる
谷　美由紀（㈱佐電工）

〈講評〉
構図が非常にいい。緑が生かされていて、夏がはじまるという表現がよくできています。

テレビ実況中
東島　俊郎（日本電設工業㈱ＯＢ）

〈講評〉
面白いかかしの写真です。タイトルをもっと工夫すれば、もっとよくなります。

夕暮れ
楢原　直人（㈱平和電興）

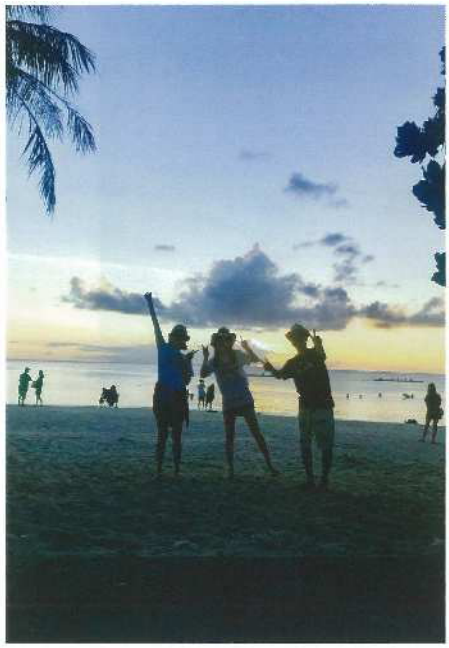
〈講評〉
非常に上手に撮れていて、構図は文句なしです。もう少し遅い時間に撮れば、ランタンの明るさが出て、さらに良くなります。

ザ・カーニバル
小川　聖喜（東光電気工事㈱）

〈講評〉
ピント・露出・トリミングもいいです。ケンタッキーの看板がいいです。背景を見せることで人物が映えています。

写真コンクール（第39回）

新人賞



家族旅行
藤井　成美（㈱平和電興）

〈講評〉
雲がいいです。シルエットで南国のムードが出ているのがいいです。両側の木が写っているのがいいです。

ファミリー賞

真夏の噴水
立石　　晃（㈱平和電興）

〈講評〉
女の子たちを少しずらして、タイトル通り噴水をもう少し大きく見せた方がいいです。

テクノレディから設計技術者へ向けて

西鉄電設工業株式会社
統括工事本部　設計部　電気設計課
髙木あゆみさん

プロフィール
麻生電子ビジネス専門学校　情報処理本科卒業後、1995年西鉄電設工業(株)へ入社。

Q.電気工事会社に入社しようと思ったきっかけは?

専門学校時の就職活動の際、先生のすすめにより、電気工事会社の求人があるが受けてみないかとのことで希望しました。事務職希望で、仕事内容はCADオペレーターということでしたが、CADの操作経験がなかったため不安もありましたが、縁があって、西鉄電設工業(株)に入社しました。

Q.今、どんな仕事をしていますか?
また、仕事の魅力・やりがいは何ですか?

入社当時は、CADオペレーターとして図面を描く仕事に従事していました。2002年に設計および見積業務を行う部署と統合され、その後はCADオペレーターと設計者の補助として図面の構成を担当しました。電気工事の勉強も本格的に始め、電気工事士等を取得し、現在はビルや商業施設、駅施設の見積業務および設計業務全般を行っています。

Q.これまでの仕事の中で印象に残っているものは?

入社2年目の時期に西鉄福岡天神駅の開通に立ち会ったことが強く印象に残っています。

まだCADオペレーターとして勉強中の時に、福岡駅の現場事務所で図面を描く機会をいただきました。CADオペレーターで入社したのに、駅の設計に従事しているのが不思議な感じがしましたし、今ではどこを描いたのかは詳細には覚えていませんが、開通後、その設計が形になったと実感し、充実感を得た最初の出来事、経験でした。

Q. 将来の目標があれば教えてください。

当面の目標としては、資格(消防設備士甲4類等)を取得することです。もちろん、今以上に自分自身のスキルを上げていくことも必要ながら、自分に与えられた仕事を精一杯努力し、設計業務に邁進していきたいと思います。

Q.最後に同業で働いている女性のみなさんへのメッセージもしくは建設業界を目指そうとしている若い世代の女性にメッセージをお願いします。

「好奇心を持つこと」と「諦めないこと」が大事だと思います。入社時は全く電気工事のことが分からなかった私ですが、「これは何だろう?」「何をするのだろう?」など興味や疑問を持ったもの何でも質問しました。先輩から後輩に至るまで、時には面倒だと思われる程、諦めず理解できるまで行いました。

それはCADオペレーターの時も今も変わりません。

前に進んで間違って後退したとしても、少しだけでも前に進めていけたらいいと考え、信念を持ち、頑張っていきましょう。

横顔紹介と随筆

佐藤　優（55才）

会社名　日本ファシリオ株式会社 福岡支店
就　任　2019年4月1日 理事　福岡支店長
出身地　福岡県宗像市
人生観　何事にも全力で取り組む。
趣　味　ゴルフ・ドライブ

自己紹介

初めまして、日本ファシリオ株式会社　福岡支店長の佐藤でございます。本年4月1日に福岡支店に赴任致しました。

私の出身は福岡県宗像市で高校（香椎工業高校）を卒業と同時に福岡を出て、勤務先であった大阪に住む事となり結婚を経て自宅を購入し、そのまま大阪に住みつき37年が過ぎてしまいました。途中、東京本店・東京本社へ単身赴任で延べ5年間過ごした後、生まれ故郷の福岡へ単身赴任する事となり、単身赴任が長くなるな～と思いつつ福岡へ戻れる喜びから福岡勤務を快諾し現在に至っております。

趣味のゴルフは、23歳から始め31歳位からのめり込み40歳前半をピークに年々下降気味となりまして、50歳からは良くもなく悪くもなく平凡なスコアで過ごしております。福岡は、ゴルフ場も近く値段も手頃な環境のため、福岡勤務の間にゴルフの腕前を上げて行きたいと思っております。

皆様もご存じとは思いますが、当社は旧近畿工業と旧丸紅設備が2006年３月に合併し翌2007年５月に現在の日本ファシリオ（株）に商号を改名しました。おかげさまで、昨年創立70周年を迎え、全国の本支店で周年行事を開催しようやく社員が一体化してきたなと感じる周年行事でした。年号も平成から令和に変わり、37年ぶりに福岡に戻りましたので、気持ちも新たにし地元のお役に立つよう一生懸命頑張るつもりで御座います。今後共、何卒宜しくお願い致します。

中谷　圭児（51才）

会社名　新生テクノス株式会社
就　任　2019年４月1日 九州支社長
出身地　広島県広島市
人生観　努力するものは希望を語り怠け者は不満を語る
趣　味　ゴルフ

チャレンジしよう！

2019年4月に支社長に就任いたしました中谷圭児と申します。何卒宜しくお願い致します。

弊社、当４月に組織改正を行い、新規、博多駅東の地で支社組織として業務開始しております。社内は工事種別として大きく一般工事と鉄道工事の事業があり旧九州支店では両建てで行っていましたが今般、其々を分割し別々の事業所で各々支社組織として運営することとなりました。

さて私自身は、九州での学生時代に鉄道工事のアルバイトをきっかけとして鉄道技術者に憧れ新生電業㈱に入社したものの東京支店営業部に配属となりました。もっとも、卒業学部は文系でしたので当然の配置だったのかも知れません。

時はバブル景気の残り香が漂い、就活も売り手市場、入社の際は何も考えず東京まで新幹線のグリーン車で上京、悪気なく行った赴任旅費の清算は「取締役の特認」であったと言われ全額支給されました。また、着任後には首都東京というところもあり街も風も交際費の使いっぷりも田舎者にとって当時の社会人生活はそれはそれは華やかに映りました。

東京で営業部課員としてスタートし、日々「名刺配り」に精進していたところへ数年後縁あって当時の九州支店福岡支社に転勤が決まり学生時代を過ごした福岡地区で勤務できることになりました。

九州での営業課員として福電協の会員各社様とお付き合いとご指導を頂戴する中、平成８年春季のゴルフ大会へ参加させていただきました。初参加のた

めスタート前の集合時には自己紹介をさせていただきましてラウンド後の表彰式では早めに順位発表されたにも関わらず「挨拶を！」とのことで緊張のなか表彰台に向かいましたが諸先輩方に往く手を阻まれ、表彰会場の最後部を指示されて、そこでマイクを握りました。一日で光栄にも「初参加ご挨拶」と「今後のゴルフに対する抱負」で２回もの発声の機会となりましたが、帰路にはカニや地卵のケースやら大量のお土産で車の後部座席が埋まりまして、複雑な気持ちであったはずですが、当時20代の私には良い思い出となっています。

その後、九州において営業職から総務職へ変わり、さらに社内異動で他府県に赴任等ありました。ゴルフの方は暦年数のみ更新されている現状ですが、弊社九州支社も一般工事に特化した組織体制となり私自身も再度、今般改めて皆様と電設業界発展の為、ご一緒できることに感謝し、努力していく所存でございますので、今後もご指導ご鞭撻のほど重ねて宜しくお願い申し上げます。

西野　忠幸（46才）

会社名　浅海電気株式会社 九州支店
就　任　令和元年10月１日 支店長
出身地　山梨県
人生観　何事にもポジティブに！
趣　味　ゴルフ、読書（刑事、歴史、ミステリー等）

自己紹介

令和元年10月より浅海電気㈱九州支店長に就任いたしました西野 忠幸です。

宜しくお願い致します。

平成７年に東京本店（当時は東京支店）に入社し、24年間工事課で努めてまいりましたが、初めて東京を離れ九州支店に転勤して来ました。初めて東京を出た先が九州という未知の土地で、不安もありました。

九州支店が決まった際に上司・先輩は、「福岡は食べ物もおいしく土地柄も良いので帰りたくなくなる」と言っていました。

食べ物は楽しみの一つです。私の出身地は山梨県の竜王町（現：甲斐市）という甲府盆地の西にある甲府市のベッドタウンというような場所で、山に囲まれた海なし県で、新鮮な海の幸があるところでは無く、大学も埼玉県であった為、就職して東京で仕事をするようになり上司や先輩に連れて行っていただいた居酒屋で、新鮮な魚を食べ感動したのを覚えています。

九州は新鮮な地魚、水炊き、うどん、ラーメン等々おいしい食べ物がたくさんありますので、食べまくりたいと思っています。

入社して東京本店で仕事をしていたと言っても、都心（23区内）での仕事は数回しか無く、神奈川県厚木市、藤沢市、相模原市、鎌倉市、千葉県松戸市、市原市、埼玉県川口市、東京都国分寺市、立川市、昭島市、山梨県甲府市、長野県駒ケ根市と現場を移動し、引越し回数は10回を超え課長職になり基本会社勤務するようになってからは、千葉県白井市に居を構え千葉で最終かなと思っていました。

千葉県は、東京都と比べ千葉市、柏市等の都市を除くとゴルフ場や自然が多く住むには非常に良いところでしたので、さびしさもありますが福岡を第三の故郷と思いこれから町にも仕事にも慣れていきたいと思っています。

私は、引越しを重ねて思うのですが、慣れてくると意外とどこに住んでいても住み心地が良いと思ってくることです。「住めば都」です。

人との出会いも住む場所も会社も人生に一度しかないならその出会いを大切にし、楽しくしていこうと思っています。

九州支店に早く慣れ、支店の社員とワンチームで頑張っていく所存ですので、みなさまからご指導を頂ければと思っております。

宜しくお願い致します。

横顔紹介と随筆

佐藤　千修（51才）

会社名　東邦電気工業株式会社
就　任　令和元年6月27日
九州支店長
出身地　宮崎県宮崎市
人生観　「目標をもって進んでいるとき人は、とてもパワフル」
趣　味　釣り、家庭菜園、温泉旅行

自己紹介

令和元年６月27日より、東邦電気工業株式会社の九州支店長に就任いたしました、

佐藤　千修(ちしゅう)と申します。宜しく御願い致します。

出身は、宮崎県宮崎市内で近くに大淀川が流れ田園風景の広がるのんびりした町で育ちました。幼い頃は、野山の中で毎日夜遅くまで遊び、切り傷の絶えないヤンチャな幼少期でした。父親になってようやく気付きましたが本当に両親には心配をかける毎日だったと記憶しています。

学生時代には、野球や剣道などのスポーツにはまり、勉強はそっちのけで打込んでおりました。高校を卒業後は、福岡へと上京し学業２割・アルバイト８割の生活を送り就職致しました。

現在は、春日市内に妻と子供３人で生活しており、最近では、犬（ミニチュア・シュナウザー）を飼い、自宅周辺を一緒に散歩する事が日課となっております。

趣味は、釣りですが、全くする機会が減り、最近では、しばらく離れていたゴルフをする機会が増え、悪戦苦闘している状況です。

私の職歴ですが、前職でこの業界に入り、当初は設計業務を、約５年間程担当しており、主に「マンション」や「テナントビル」などの設計に携わっておりました。

東邦電気工業へは、平成８年４月に入社し、九州支店工事グループへ配属となり、主に九州各県の電気設備工事に従事しておりました。当社入社後、初めての現場は、春日市に縁があるのか現在自宅の近くにあります大型複合施設の現場施工を担当し、それから約二十数年の間、現場担当者として送ってきました。

入社当初の現場の苦労話として、今でこそ当たり前に使われています「CAD」など当時の現場ではあまり普及しておらず手書きでの施工図面が当たり前の時代でした。第二原図（トレース用紙）に徹夜で施工図を作成し、青焼き図面を職人さんに受け取ってもらい図面内容を説明中に、こんな図面で仕事出来るかと目の前で破かれ大変ショックだった事を記憶していますが、未だその当時の職人さんとは仕事やプライベートにとお付き合いさせて頂いています。

失敗談や苦労話といった話題は数え切れずありますがこの位と致します。

当社は、おかげさまで今年度創立70周年を迎える事ができました。

全国各地において、「感謝の集い」として、式典を開催させていただきました。

ご参加いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

創業以来、電気設備工事の専門家として、日本全国で数多くの工事を手掛けてまいりました。

当社のコアビジネスである、「鉄道電気設備工事」「情報通信設備工事」「一般電気設備工事」の3分野では、いずれも生活を支える大切な社会インフラに貢献しております。

豊かな社会づくりに貢献する企業を目指しこれからも皆様方からのご指導いただきながら、日々努めてまいりますので、今後とも宜しくお願い致します。

70th
Toho
未来をつくる技術
SINCE 1949

松浦　良一（54才）

会社名　栗原工業株式会社
九州支店

就　任　平成30年12月21日
九州支店　支店長

出身地　福井県坂井市春江町

人生観　行の上にも３年
聞くは一時の恥、
聞かぬは一生の恥

趣　味　防波堤釣り、ゴルフ、
スポーツ観戦

入社32年間を振り返って

福岡電業協会　会員の皆様初めまして、平成30年12月21日付けの辞令により栗原工業株式会社　九州支店長に就任しました　松浦　良一と申します。何卒よろしくお願いいたします。

私は、1965年（昭和40年）東京オリンピックの翌年に生まれました。出生地は豪雪地帯で有名な日本海北陸の福井県嶺北地方出身です。地域の観光地としては、日本随一の奇勝として名高い東尋坊、開湯130年の歴史を誇る北陸を代表する温泉地　「あわら温泉」、曹洞宗の大本山　「永平寺」などが有名です。健康長寿福井を代表する食文化としては、江戸時代から伝わる鯖の糠漬けの「へしこ」や冬の味覚の王様オスのズワイガニ「越前ガニ」また、そばに大根おろしやかつお節、ネギを添えた「越前おろしそば」も絶品です。そして、なんといっても皆様が大好きな豊富なミネラルを含む白山水系の水に地元産のお米を基本とした地酒「黒龍、九頭龍、一本気」なども堪能できます。北陸福井を旅した際にはぜひ食してみてはいかがでしょうか。

この福井の地で大学を卒業するまでの22年間を過ごしました。高校、大学と電気工学を学んだことで、迷いもせず就職先は、電気工事会社を選び現在の栗原工業株式会社に昭和62年に就職しました。入社する前までは、電気工事の職人をするのだと思っていましたが職種は、現場管理をする技術系社員とのことで戸惑があったことを覚えています。入社から６ヶ月間、大阪の教育訓練所で電気工事の現場管理と必要資格について学びました。そんな中、訓練所生活も終わりに近づき配属時期を迎えるとなんと配属先は東京本店と告げられ唖然としました。東京弁大丈夫かなーと一抹の不安もありましたが大都市東京へ行ける期待感のほうが大きく同期生数人と東海道新幹線に乗ったのを昨日のように思い出します。最初の現場は、茨城県つくば市での公共工事現場に配属となりました。当時は、右も左も全く分からず先輩社員や協力会社の作業員の方々、ゼネコン社員の方によく教えてもらいました。電気工事の配管作業では、スラブ配管にねじなし電線管を使用しており作業時間も少なく残業、夜間作業になることがほとんどでした。現在とは、比較にならない状況だったことを思い出します。東京での居住は現場の兼ね合いもあり京王線沿いの多摩ニュータウンの緑あふれる中で過ごしました。社内の家族同士で北浅川のマス釣り場でマス釣りとバーベキューをしたのを思い出します。東京では、平成25年までの26年間を施工管理一筋で箱物現場に携わってきました。その年の４月に九州支店　工事管理部長として九州福岡に赴任しました。私には子供が３人おり転勤などは初めてで家族総出で、どこに住むの？学校は？などと慌てふためいたのが懐かしく思い出されます。現在では、７年目を迎え家族そろって博多弁になっています。福岡の地では、私の生まれ育った福井同様、日本海に面し生まれて初めて食した玄界灘の「ゴマさば」「透明のいかの生き造り」は福岡の食の醍醐味だと思い大変満足しております。７月の「博多祇園山笠」では、当社九州支店の正面を通ります。朝早くから勢水を用意し博多の心意気を堪能しております。皆様との出会い「縁」を大切にして九州福岡の地で頑張っていきたいと思っておりますので何卒宜しくお願い申し上げます。

横顔紹介と随筆

阿部　洋志（48才）

会社名　株式会社中電工　九州支社
就　任　2019年7月1日　支社長
出身地　山口県萩市
人生観　人との縁に感謝
趣　味　スポーツ観戦　ウォーキング

自己紹介

2019年７月１日付で株式会社中電工　九州支社長に就任しました、阿部　洋志と申します。よろしくお願いいたします。

出身地は山口県萩市（旧旭村）出身で自然豊かな静かなところです。

1994年4月に事務職として入社し、2003年2月の人事異動の際に、配置転換に伴って営業職として本店勤務となりました。

勤務地は萩市（4年）～下関市（5年）～広島市（５年半）～山口市（４年）～宇部市（４年）そして2018年７月に福岡勤務となりました。大学を福岡で過ごして以来24年振りの福岡で喜んでいます。

広島で営業職として生活を始めたことで、私の人生観が大きく変わりました。全く知り合いのいない土地での仕事で前任者と客先へ初めて引継ぎの挨拶に伺った際、名刺交換もしてもらえず、設計担当者が翌日そのお客様と打合せする事を知っていた私は、その足で設計部に行き私も同席させて欲しいとお願いし、徐々に信頼を得た経験やいろいろな職場や勤務地で多くのことを学び、また、たくさんの人と出会い助けていただきました。

その経験と人々との繋がりを継続してきたことが、今の私の貴重な財産となっています。

弊社九州支社は、九州・沖縄地区が担当エリアとなっています。

人員削減等があり非常に厳しい状況ですが、人との繋がりが大切にし前向きに取り組んでいきたいと思います。

単身赴任２年日になります。いまだに料理だけは億劫ですが、福岡での生活を楽しみながら、たくさんのことを吸収していき頑張りたいと思います。今後とも福岡電業協会の皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

野小生　克明（51才）

会社名　東光電気工事株式会社　九州支社
就　任　2019年4月1日　支社長
出身地　熊本県熊本市
人生観　「出会いは奇跡」
趣　味　旅行、マラソン

「人間到る処青山あり」

平成31年4月に九州支社長に就任致しました野小生克明と申します。

九州へは平成30年4月より赴任し今年度より支社長を拝命いたしました。

平成3年に社会人となって以来、東京勤務でしたので初めての転勤が九州であり感無量でございます。

熊本で生まれ学生時代は熊本と福岡で過ごしておりました。就職前は日本中がバブル経済で小生も大望を夢見て東京に就職を希望した事が懐かしく思います。都会の雑踏のなかで、様々な出会いや経験により育てられたことは何事にも変えられない事であります。

社会人として27年ぶりの福岡の生活は、学生時代とは食べる物や遊ぶことも違い新しい発見の連続でワクワクしてます。反面、仕事では地元経済界の結びつきがこれほど強固なものかと感心させられます。他県への出張や単身赴任な為、外食が多いのですがどの店へ行っても価格に対する品質が良く満足させて頂いております。しかしながら、車生活のおかげで「歩く」ことが大幅に少なくなり飲食と身体の管理に気が抜けない状況です。

弊社九州支社も昭和38年に支社として営業活動させて頂いております。支社となる以前より九州電力様の送電線工事を中心に近年は内線工事に注力しております。今後もさらに地元福岡の会員様と密にお付き合いさせて頂き協会発展のために尽力したいと思います。人付き合いが希薄な中、福岡に於いては焼き鳥片手に焼酎を飲みながらお付き合い出来れば幸いです。

今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。